

2021年6月期 第2四半期 決算サマリー

- 売上高は緊急事態宣言解除以降、企業活動の再開、国や地方の需要喚起策等の下支えで、地方を中心に需要回復に向かうものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく大幅減収 8,223 百万円（前年比△48.2%）
- 売上総利益、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益は、コスト削減策の実施による効率的な運営でコスト抑制を図るものの、売上原価に占める賃借料、店舗における労務費等の固定的な費用が大きく、売上高に連動する売上原価の減少を上回った結果、売上総利益△1,621 百万円（前年は売上総利益 4,302 百万円）、営業損失 3,637 百万円（前年は営業利益 1,315 百万円）、経常損失 3,478 百万円（前期は経常利益 1,336 百万円）、親会社株主に帰属する当期四半期純利益△3,513 百万円（前期は親会社株主に帰属する当期四半期純利益 822 百万円）

1. 通期連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(百万円)

	2020年6月期 2Q	2021年6月期 2Q	増減	増減率
売上高	15,880	8,223	△7,657	△48.2%
売上総利益 (売上比)	4,302 27.1%	△ 1,621 -	△5,923 -	-
販売費及び一般管理費 (売上比)	2,986 18.8%	2,016 24.5%	△970 +5.7pt	△32.5%
営業利益 (売上比)	1,315 8.4%	△ 3,637 -	△4,952 -	-
経常利益 (売上比)	1,336 8.4%	△ 3,478 -	△4,814 -	-
親会社に帰属する四半期純利益 (売上比)	822 5.2%	△ 3,513 -	△4,335 -	-

2. 事業別の状況

(百万円)

	2020年6月期 2Q	前年同期比 (2019年比)	2021年6月期 2Q	前年同期比 (2020年2Q比)
チョイスホテルズ事業	12,166	101.2%	6,113	50.3%
グリーンズホテルズ事業	3,617	91.0%	2,023	55.9%
その他の事業	96	102.7%	86	88.9%

3. 主要な営業指標

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期 2Q
客室数 (室)	11,911	12,844	13,485	13,522	13,703
チョイスホテルズ事業	8,899	9,550	10,185	10,133	10,203
グリーンズホテルズ事業	3,012	3,294	3,300	3,389	3,500
客室稼働率 (%)	83.2%	83.0%	82.1%	63.3%	56.1%
チョイスホテルズ事業	84.3%	84.1%	83.8%	64.2%	57.2%
グリーンズホテルズ事業	80.1%	80.0%	77.0%	60.8%	52.8%
客室単価(円)	6,514	6,679	7,125	6,744	5,460
チョイスホテルズ事業	6,727	6,956	7,463	7,115	5,579
グリーンズホテルズ事業	5,850	5,850	6,016	5,587	5,080

4. 財政・投資の状況

■ 財政状態

新型コロナウイルス影響下の事業運営により、短期借入金が増加。今後の運転資金及び事業運営に対し手元流動性を高めるため、前事業年度に5,000百万円の当座貸越契約、12,500百万円のシンジケートローン契約を締結し機動的かつ安定的な資金調達手段を確保

(百万円)

	2021年6月期 2Q 末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	6,636	+147	+2.3%	現金及び預金の増加14百万円、 売掛金の増加642百万円、 差入保証金の増加110百万円、等
固定資産	11,052	+118	+1.1%	
資産合計	17,688	+265	+1.5%	
流動負債	11,915	+4,255	+55.6%	短期借入金の増加3,700百万円、 長期借入金の減少365百万円、等
固定負債	3,414	△345	△9.2%	
負債合計	15,329	+3,910	34.2%	
純資産合計	2,358	△3,644	△60.7%	利益剰余金の減少3642百万円、等
自己資本比率	13.3%	△21.2pt		

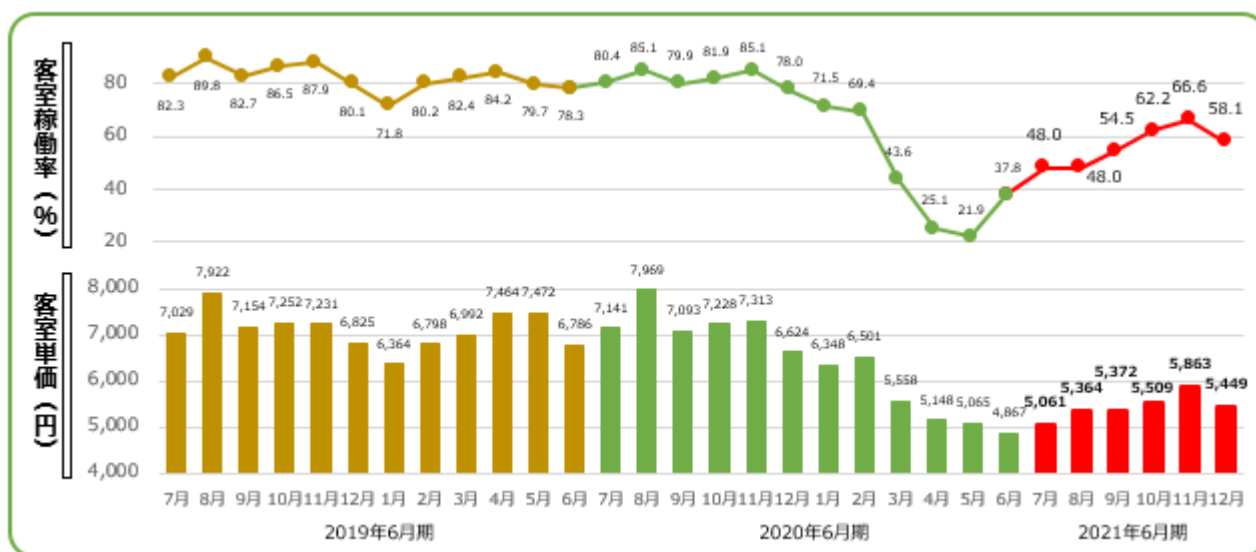
■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の四半期末残高4,309百万円（前期比△1,463百万円） (百万円)

	2020年6月期 2Q	2021年6月期 2Q	増減要因
営業活動 によるCF	789	△2,737	減少は、税金等調整前当期純利益△3,481百万円、 増加は、売上債権△642百万円、等
投資活動 によるCF	△480	△430	増加は、有形固定資産の取得による支出233百万円、 差入保証金の差入による支出167百万円、等
財務活動 によるCF	△170	3,182	増加は短期借入による資金増加3,700百万円、 減少は長期借入金の返済による支出365百万円、等

5. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

客室稼働率、客室単価とも月を追うごとに改善。12月は、第3波の影響で客室稼働率低下



6. 今後の見通しと取り組みについて

■今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大影響による客室稼働率や客室単価の見通しに関する想定が難しく、合理的に算定することが困難であることから、引き続き2021年6月期の連結業績予想につきましては未定といたします。

<主な取り組み事項>

しっかりとした感染予防対策による安心安全なサービスを提供することを通じて、引き続き顧客満足度向上に努めつつ、需要回復期の競争力強化に向けた多面的な基盤強化を進めてまいります。

営業体制	ホテルオペレーターチェンジ案件の積極的な検討・提案等	⇒ ホテルメリケンポート神戸元町、コンフォートイン六本木など
	オペレーションの更なる効率化、商品力強化	⇒ セルフチェックイン・アウト機の既存店展開、フロントシステムの刷新
	機動的な人員確保	⇒ 既存店を効率化し、オペレーターチェンジ案件へスムーズに対応
運営体制	各運営ホテルにおける、ガイドラインに即した感染防止策の徹底	クリアパーティション設置、パブリックスペースの定期消毒、レイアウト変更などを実施
	運用コスト、本社部門コストなどの見直し（PJTチームを組成）	社員シフト調整、一時帰休、諸手当及び賞与カット、役員報酬減額、外注費の交渉、調達の見直しなど
	安定的な事業運営体制維持へ借入枠拡大による運転資金の確保	12,500百万円のシンジケートローン契約により安定的な資金調達手段確保

(注) 資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。将来数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願い申し上げます。

株式会社グリーンズ
 総務部 総務課
 059-351-5593